秋号 2016 Autumn

2016年（平成 28 年）10 月 15 日発行

Vol.87

PATIO

JIYUGAOKA SANNO COLLEGE Alumni Association

ー第21回校友大会in松島特集ー

P2　学長の挨拶
P3　第 21 回校友大会
P10　縁結びプロジェクト
P11　支部だより
P14　定期代議員会

自由が丘 産能短期大学 校友会

学長の挨拶

この４月に自由が丘産能短期大学の学長に就任しました。私は昨年の４月から校友会担当理事となり、校友大会、理事会、周年記念支部総会などに出席させていただき、校友会の活動に直接触れ、校友の皆さんと親しくお話しする機会を度々持つようになりました。今春からは、更に皆さんとの距離が縮まったように感じています。

本学は、昨 2015 年度から通信教育による短期大学として再出発しました。今年はその２年目を迎えています。通信教育では、学生の入学時期が春（前学期）と秋（後学期）の２回あり、今年の前期には、1400 名を超える皆さんの後輩を迎えました。この稿をしたためている今は後期生を受け入れている最中で、昨年を上回る入学志願を受け付けているところです。これは本学卒業生すなわち校友の皆さんが活躍され、その輝いている姿が社会のさまざまなところで人々の目に触れ、その姿を通して本学の魅力が感じ取られている、あるいは皆さんが母校のことを懐かしく語られる言葉に惹きつけられている方が多い、ということではないでしょうか。このように卒業生とは、本学を社会に雄弁に語る存在であると思います。

そのような卒業生の皆さんが、母校を愛し、校友どうしが交流を深める校友会という場に関わることができることを嬉しく、誇りに思います。６月には宮城県の松島で行われた第 21 回校友大会に参加しました。この大会は「オール産能 in 松島《絆》」をテーマに掲げ、大いに校友の親睦が図られるとともに、東日本大震災の教訓の伝承・防災意識の啓発が進められました。参加の呼びかけは、短大校友会にとどまらず、大学校友会、大学通教校友会にも及び、オール産能の精神を遺憾なく発揮されていました。このような熱意と日頃の地道な活動のご努力で、校友会が益々発展されますことを祈念してやみません。本学は短期大学としての向上に精一杯努めて参りますので、今後ともご理解とご支援をお願い申し上げます。

自由が丘産能短期大学　学長　小林武夫

あなたも支部への扉をノックしてみませんか？

【全国 26 支部】

北海道・岩手・宮城・秋田・山形・福島・茨城・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・新潟・富山・長野・中京（愛知・岐阜・三重）・静岡・関西（滋賀・京都・奈良・和歌山・大阪・兵庫）・山陰（鳥取・島根）・岡山・広島・山口・四国（香川・徳島・愛媛・高知）・福岡佐賀（福岡・佐賀）・長崎・鹿児島

それぞれの支部の連絡担当者については、校友会本部事務局までメールまたはファックスにてお問い合わせください。

（メール：tandai@sanno-koyu.jp　ファックス：03-3704-9539）

各支部の活動は、自由が丘産能短期大学校友会ホームページでも迅速に紹介しています。ぜひご覧ください。

（ホームページ：http://www.sanno-koyu.jp/）

第21回校友大会「オール産能 in 松島《絆》」

今年の校友大会は、宮城支部主催で、日本三景の一つ松島で開催されました。東日本大震災から５年が過ぎ、復興はまだ道半ばにあって、短大卒業生だけでなく大学卒業生を交えて「オール産能」で復興を支援しようと、東北各支部の協力を得ての開催目的でしたが、校友大会および翌日のツアーにも趣旨が随所に示され、意義深い大会になりました。

第１部　式典

学校法人産能大学　上野俊一理事長

式典

開会宣言
1. 母校ご来賓ご紹介
2. 校歌斉唱
3. 会長挨拶
4. 会務報告
5. 理事長ご挨拶
6. 校友会功労者表彰
7. 優良支部表彰
8. 募金活動についてのお願い

閉会宣言

◀式典に先立ち昨年12月に御逝去されました上野一郎名誉顧問への哀悼の意を表し、全員で黙祷を捧げました。

▲来賓の皆様もオール産能

◆功労者表彰

支部活動および本部校友会活動に多大な貢献をされた以下の４名の方々が校友会功労賞を受賞されました。

皆様おめでとうございます。

▲石井　一夫さん
（茨城支部副支部長）

▲佐々木　敏夫さん
（福島支部事務局長）

▲早坂　泰雄さん
（埼玉支部相談役・元校友会会長）
早坂さんは当日ご欠席のため、埼玉支部中嶋支部長が代わって受賞いたしました。

▲村上　洋子さん
（千葉支部事務局長）

◆優良支部表彰　東京支部

▲山本支部長はじめ東京支部の皆さん

支部活性化に向けて、多くのアイディアを出し活動に結びつけている点と、会則を改正し学部卒業生や現役学生の支部参加や、他会とのコラボによって「オール産能」を実践している点が評価されました。

第２部　記念講演
「老舗の知恵を生かす被災企業再建」

講師は IM コンサルタント代表・平松陽一先生で、若いころ上野陽一先生の翻訳された「科学的管理法」に影響を受け、その後産業能率大学の先生方と一緒に実践的な能率学を学んだ方です。

被災企業の復興には、老舗の能率的な仕事の進め方が有効であるということを、実例を交えてお話しいただきました。

平松陽一先生　プロフィール

IM コンサルタント　代表取締役
コンサルティング歴 35 年

玉川大学工学部経営工学科卒業。組織コンサルティング活動を経て、1983 年に IM コンサルタント代表となる。

30 冊以上の著書や数多くの講演実績がある。

講演内容も理論ではなく、実際に使える知識を講演するため、すぐに役立つという評判が高い。

東日本大震災以降、現在も三陸地方を回り、企業の再建を行っている。

クライアントは、大企業（官公庁）から中小企業まで多岐にわたる。

主要著書：『新規開拓営業が企業を救う』、『一生懸命売ろうとするから売れない・売れないときの売れる営業・「でっかい仕事」をやってみないか』、『100 年続く老舗に学ぶ　生き延びる企業の組織存続力』（以上、産業能率大学出版部）

『この老舗に学べ』（フォレスト出版）、『同行営業７日間トレーニング』（同文館出版）、『営業部長のつくり方』（KK ロングセラー）、『これなら面白いほど営業マンが育つ』（すばる舎）、『教育研修の効果測定と評価のしかた』（日興企画）等、多数ある。

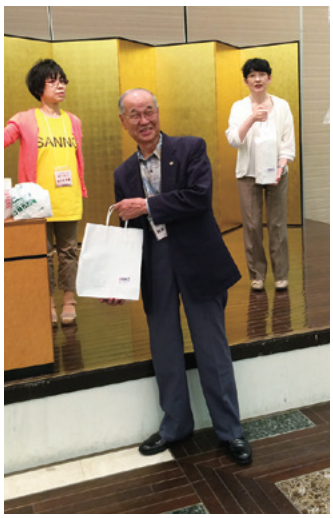
第３部　懇親会

懇親会は大会開催を仕切った宮城支部の荒木事務局長の司会で太田卓男支部長より歓迎の挨拶で始まりました。次いで、自由が丘産能短期大学小林武夫学長のご挨拶、風戸修子学科長の乾杯ご発声で祝宴に入りました。

懇親会には学校法人ならびに母校短大の教職員の方々も多数ご参加いただき、主催の宮城支部をはじめ共催の東北各支部の校友会員および全国から参集した校友会員との親交を深めることができました。

アトラクションも復興を意識してオール東北のメンバーによる、生演奏による歌あり、さらには平石俊夫会長のギター演奏で盛り上がりました。後半には抽選会も行われ、景品には各支部から多くの寄贈品が用意されていました。

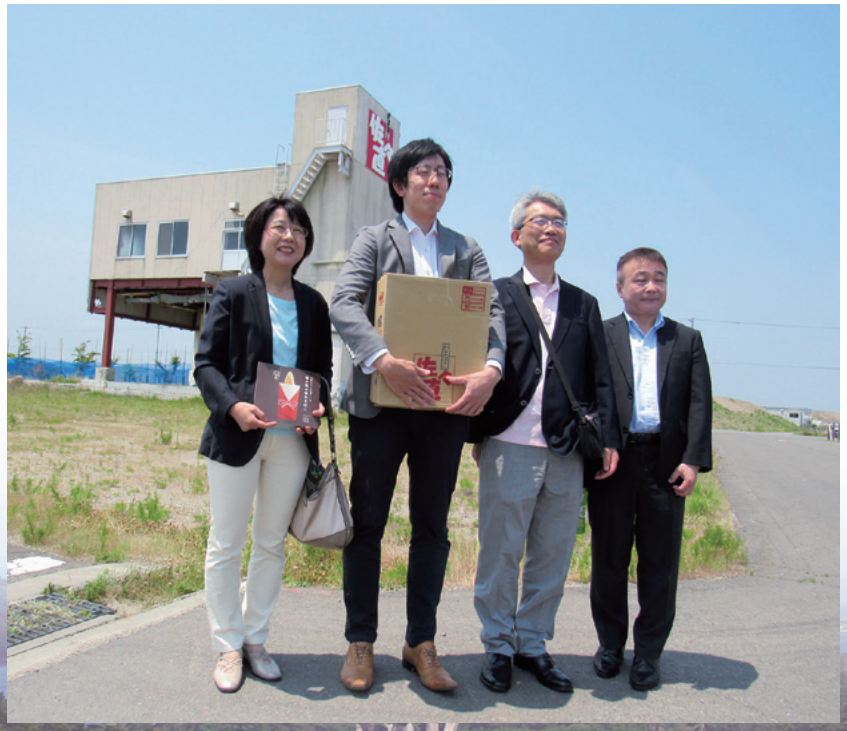
宮城支部そして東北各支部の協力による発信として、震災復興に向けての力強いメッセージを十分に感じ取ることができました。



研修ツアー

今回は松島湾のクルージングと東日本大震災で壊滅的な被害を受けた閖上地区の現地視察そして仙台名物牛タンを食するツアーです。

朝、定刻より少し遅れてホテルをバス2台で出発し、松島港でチャーター船に乗り換え、約40分の遊覧を楽しみました。松島湾内の大小の島々の景勝地を観光船内から見学、何よりも印象に残ったのはこの湾内の多くの島々のおかげで、津波のエネルギーが吸収され津波の被害が防げたという説明には感銘を受けました。



閖上地区では、震災後5年経過した今でも、津波に耐える防潮堤の建設中で、建物は全く建っていません。その中で鉄骨の建物が1棟残っており、その所有者が株式会社『佐々直』で笹かまぼこの製造販売している老舗企業です。2004年に本学の学部を卒業された佐々木悠輔常務から、被災時および復興のお話しをしていただきました。

被災当時父上である社長は２階（階高が高く普通の建物の３階相当）の事務所にいて無事でしたが、工場は２棟とも流されてしまいました。半年後には近くの高台にある倉庫を改造して工場を再開し、昨年名取市内に新工場を建設して稼働し始めましたが、売上げは震災前の７、８割でしょうか。防潮堤が完成する２年後には建築物の建設が始まる予定です。

現存する『佐々直』の建物の近くには津波の高さを記録するために築造されたモニュメントがあり、日和山は被災した犠牲者のための鎮魂の場となっていました。

一日も早い復興を願って、佐々木専務からご提供いただいた『佐々直』の笹かまぼこを試食した後、昼食場所での特別提供販売をしていただくことになりました。

昼食は『伊達の牛タン』において仙台名物牛タンを満喫しました。食事後駐車場にて、『佐々直』の笹かまぼこの特別提供販売をご用意いただき、あっという間に完売しました。復興を確かなものにするには、被災地の産業の活気づく支援が必要と感じました。

まだまだ復興は道半ば、今回のツアーを通じて、我々にもできる復興支援に気づかされた校友大会だったと思います。

（文責／校友会副会長　鈴木照男）

縁結びプロジェクト

縁 (えん) 結びプロジェクト」がスタート

校友会ホームページ (http://www.sanno-koyu.jp/) で、「縁 (えん) 結びプロジェクト」がスタートしました。

「縁 (えん) 結びプロジェクト」は、一般消費者向け事業を営む校友会会員の方を、その他の校友会会員の方に紹介することにより全国各地で新しい出会いを創出し、校友会の目的である「会員相互の研鑽と交流」を促進いたします。

同時に、各支部・グループに所属の校友会会員の方で一般消費者向け事業 (食品や飲料関係、社労士・税理士、旅館・ペンション・飲食店・お菓子屋さん・クリーニング店、塾、教室ほか、さまざまな一般消費者向けの業種) を展開されている方からの広告の募集を開始いたしました。

未だ、支部・グループに所属されていない方は、是非この機会に支部・グループにご参加をお願いします。詳しい募集要項は、校友会ホームページの「縁 (えん) 結びプロジェクト」に掲載していますので、ご参照ください。

申込み方法や掲載までの流れなどは春号にてお知らせ予定です。

縁結びプロジェクト専用入口

※募集要項のダウンロードは

一覧を見る →クリックしてください。

(縁結びプロジェクトチーム)

支部だより

茨城支部

2016年上半期イベント開催ご報告

茨城支部での活動についてご報告いたします。
4月10日に茨城支部総会を開催しました。水戸京成百貨店・バンケットルームにて、支部会員16名、本部・他支部からの来賓3名にご参加を頂き総勢19名での開催となりました。総会では、昨年度の活動報告、今年度の活動計画を報告無事に終了しました。今年度も、楽しめて、ためになる行事を計画しています。第二部では、本部・支部グループ部会責任者の遠藤氏から「支部活動活性化についての施策と助言」をいただきました。第三部は懇親会！茨城イタリアンで有名な「グルービー」の料理をいただきながら、校友会談義に花を咲かせました。

6月11～12日に宮城県松島町で開催された、全国校友大会・松島大会に支部より3名が参加しました。

今回、茨城支部会員の石井氏が校友会功労者として表彰されました。石井氏には、副支部長として長年に渡り行動と助言をいただき感謝しております。その功績が評価されての表彰となりました。

7月17日に見学会を開催しました。今回は、石岡市の歴史と街並みの見学で、8名の参加で実施しました。石岡駅に集合し、石岡市ボランティアガイド・兼平さんの案内で見学をスタート。最初に目指すは“国分寺跡”です。建物はなく、規模も縮小されてしまいましたが、目を閉じて当時を偲ぶと歴史ワールドが広がります。街中には、大きな製糸工場跡あり、お寺あり、コンクリートを鏝で装飾した建物ありと、不思議な街並みを見ることができました。参加者の皆さんも、新たな発見があったようです。

上野理事長と石井氏

石岡駅にてガイド開始

常陸国総社宮前にて

次回行事案内

茨城支部お茶会

●9月18日13時30分～　水戸市国際交流センター　研修室2
●9月25日13時30分～　つくばカピオ　和室1

一泊見学会

●10月22～23日　茨城県北芸術際のアートを巡る旅
（宿泊：久慈サンピア日立）

訃報　茨城支部長の稲葉稔さんが9月13日にご逝去されました。
ここに故人のご冥福をお祈りいたしますとともに、謹んでお知らせ申し上げます。

支部だより

新潟支部

第 32 回定期総会のご報告

新潟支部では平成 28 年 3 月 13 日に第 32 回定期総会を新潟駅前の「まる松」にて開催いたしました。

今年の総会は、県外より小山理事、辻村理事の他、現役学生の参加を頂き総勢 36 名の出席となりました。

総会は事業報告、収支決算報告、及び監査報告、事業計画、収支予算案と無事に承認終了いたしました。

総会後は大学より秋山兼夫先生をお招きし大学通教校友会との合同学習会を出席は 46 名で開催致しました。

講演テーマは「機能分析と創造性による仕事やサービスの革新」という難しい演題ながら、産業能率大学の発展期における創造性開発、その多大な成果により様々なかたちで大学自体の発展に寄与されてきたことを、問題解決という観点から、非常にわかりやすくご講演いただきました。マイクなしでパワー溢れダンディー先生の講演は大変引き込まれスクーリングを受けたくなったと大好評！でした。講演後は先生を囲んでの懇親会は短大・大学オール産能 39 名で多いに盛り上がり親睦を深めました！二次会でカラオケで先生の歌声を堪能し有意義な 1 日となりました。

SANNO 女性交流会「雪椿会」

第 2 回ランチ会が開催されました！ 4 月 9 日（土）燕三条地場産振興センター
レストラン「メッセピア」さんにて

富山支部

手作り味噌講習会のご案内

富山支部では、下記の支部活動を予定しております。
たくさんの方のご参加をお待ちしております。

日　　時　平成 29 年 2 月 25 日（土）14:00～
場　　所　滑川市民交流プラザ 3F 調理室
会　　費　2,400 円
講　　師　新村　弘之先生（新村こうじみそ商店　五代目）
内　　容　手作り味噌講習会
⑴仕上がり約 6kg の味噌作り
⑵発酵食品の魅力・カビ・菌のお話

問合せ先　支部長　浦田　優理香
TEL・FAX：076－477－1691
メールアドレス：sannonamerikawa@yahoo.co.jp

静岡支部

平成 28 年度　静岡支部総会開催のお知らせ

支部恒例のメインイベントである支部総会を下記にて開催いたします。
多数の会員の皆様のご出席をお願いします。
総会・講演会・懇親会への個別のお顔出しも大歓迎です。

日　　時　平成 28 年 11 月 23 日（祝日）13:30～17:00
会　　場　クーポール会館
（静岡市　紺屋町 2-2　TEL：054-254-0251）
受　　付　13：00～
総　　会　13：30～14：00
講 演 会　14：00～15：00
演　　題　「福をもたらすコミュニケーション」
懇 親 会　15：10～17：00
懇親会費　5,000 円

講　　師　スマイリー鈴木
Dream Master of Ceremonies・フリー司会業

問合せ先　静岡支部事務局　田中　隆徳
〒419-0202　富士市久沢 1456-3
TEL・FAX：0545－71－5449
メールアドレス：jf2uaq@uv.tnc.ne.jp

山口支部

山口支部総会のお知らせ

山口支部総会・研修会及び懇親会を来年の 1 月 8 日（日）に開催いたします。
県内在住の校友会会員には今年 12 月に改めてご案内いたします。
新年早々でご多忙とは存じますが、何とぞご出席くださいます様お願い申し上げます。

「山口支部総会・研修会」

日　　時　平成 29 年 1 月 8 日（日）11 時 30 分～ 15 時
会　　場　新山口ターミナルホテル　（JR 新山口駅北口正面）
山口市小郡下郷 1292　（TEL083-972-0002）
内　　容　1. 総　会
①平成 28 年事業報告・収支決算について
②平成 29 年事業計画・収支予算について
③その他
2. 研修会
3. 懇親会
会　　費　男 性　6,000 円　女性　4,000 円
初めて出席される方は会費半額です。

前回の総会での集合写真

懇親会での様子

「会員の声」

会員の声を参考に取り組んでまいりますので、皆様からの要望、意見など率直な声を電話、メールなどでお知らせ頂きますようお願いいたします。

問合せ先

支部長　松田　茂
〒745-0802　周南市栗屋 156-68
電話：0834-26-0533
メールアドレス：shige0808vo@yahoo.co.jp

事務局　麻生　倫司
〒753-0083　山口市後河原 160
電話：083-923-5727
メールアドレス：asot326@kjb.biglobe.ne.jp

定期代議員会

6月11日（土）宮城県松島町のホテル大観荘にて第35回定期代議員会が代議員出席58名、委任状出席42名合計100名にて行われました。

議長に鈴木副会長、副議長には新潟支部の鈴木事務局長が選出されました。審議事項は下記の通りです。

●2015年度　事業報告及び収支決算報告
●2016年度　事業計画（案）及び収支予算（案）報告
●支部グループ等の助成金支給基準変更について。
●定期代議員会の今後の開催方法変更について

以上は全て承認されました。

その後校友会への質問票の回答がされ無事に終了しました。

●下記の通り決算報告および予算が承認されました。

2015年度　収支決算報告所

（自2015年4月1日～至2016年3月31日）

【収入の部】

項目		収入予算	収入実績
前年度繰越金		65,515,577	65,515,577
本年度収入	通信教育課程入会会費	10,000,000	12,630,000
	準会員入会会費	200,000	280,000
	校友大会参加料収入	1,300,000	1,195,000
	校友大会賛助金収入	500,000	1,174,806
	卒業生情報管理料（短大から）	1,000,000	1,000,000
	校友会運営賛助金（会員から）	500,000	359,000
	20回記念校友大会積立金収入	2,000,000	0
	その他収入（利息他）	17,000	10,736
	本年度収入小計	15,517,000	16,649,542
特別収入　校友会運営補助金（法人から）		4,920,000	4,920,000
合　計		85,952,577	87,085,119

【支出の部】

費用		項目	支出予算	支出実績
1	経常費	人件費	4,000,000	3,990,000
		事務局交通・通信費	670,000	628,388
		理事会会議・会場費	350,000	224,000
		事務用消耗品費	200,000	193,490
		諸雑費	100,000	245,347
		小　計	5,320,000	5,281,225
2	事業費	代議員会開催費	1,010,000	1,102,892
		支部・グループ活動支援費	2,800,000	1,706,000
		支部・グループ部会活動費	650,000	617,454
		校友大会部会活動費	1,850,000	2,461,371
		交流部会活動費	130,000	82,776
		広報部会活動費	4,926,000	4,924,976
		ＩＴ部会活動費	1,281,000	697,243
		特別事業費（奨学費）	100,000	100,000
		小　計	12,747,000	11,692,712
3	部門費		100,000	29,500
4	支部活動支援積立金		1,470,000	1,470,000
5	予備費		200,000	0
	1～5の合計		19,837,000	18,473,437

6	次期繰越金	66,115,577	68,611,682

2016年度　収支予算

（自2016年4月1日～至2017年3月31日）

【収入の部】

項目		予算案
前年度繰越金		68,611,682
本年度収入	通信教育課程入会会費	11,000,000
	準会員年会費	280,000
	第21回校友大会参加料収入	975,000
	第21回校友大会賛助金収入	500,000
	翌日ツアー参加料収入	480,000
	卒業生情報管理料	1,000,000
	校友会運営賛助金（会員から）	300,000
	第20回記念校友大会積立金収入	2,000,000
	その他収入（利息他）	17,000
特別収入　校友会運営補助金（法人から）		4,920,000
合　計		21,472,000

【支出の部】

費用		項目	予算案
1	経常費	人件費	4,000,000
		事務局交通・通信費	700,000
		理事会会議・会場費	270,000
		事務用消耗品費	230,000
		諸雑費	100,000
		小　計	5,300,000
2	事業費	代議員会開催費	2,389,000
		支部・グループ活動支援費	2,830,000
		支部・グループ部会活動費	650,000
		校友大会部会活動費	1,955,000
		交流部会活動費	119,000
		広報部会活動費	4,168,000
		ＩＴ部会活動費	558,000
		特別事業費（奨学費）	100,000
		小　計	12,769,000
3	部門費		10,000
4	支部・グループ活動支援積立金		2,090,000
5	予備費		200,000
	1～5の合計		20,369,000
	収支（収入小計＋特別収入－支出1～5）		1,103,000

6	次年度繰越金	69,714,682

学位授与式

3 月 19 日本学にて第 103 期通信教育課程学位授与式が行われました。
アイビーホールにて平石会長の乾杯で卒業パーティーが行われました。
新しい校友会員が約 800 名！新しい仲間が増えました！
卒業生の皆様おめでとうございました！

校友大会賛助金　ご協力の御礼と感謝を申し上げます

去る 6 月、松島において開催されました第 21 回校友大会には多くの皆様から賛助金のご協力をいただきました。
以下にお名前と賛助金口数を記し、ご協力の御礼を申し上げます。　※一口以上

氏名（敬称略）	都道府県
4口	
加古　欣一郎	東京都
早坂　泰雄	埼玉県
3口	
関　光子	長野県
平石　俊夫	新潟県
2口	
麻生　倫司	山口県
浦田　優理香	富山県
川上　綾子	新潟県
小山　正彦	群馬県
佐藤　富夫	神奈川県
鈴木　照男	東京都
鈴木　信義	神奈川県
永栄　和子	石川県
藤原　郷司	大阪府
和田　広行	神奈川県
1口	
荒井　誠亮	埼玉県
荒木　次男	宮城県

氏名（敬称略）	都道府県
石井　一夫	茨城県
内田　仁	新潟県
太田　卓男	宮城県
柿沼　英男	東京都
勝俣　幸吉	神奈川県
木村　幹雄	栃木県
小林　正則	東京都
斎藤　陽子	新潟県
酒井　寿喜	広島県
坂本　健二	福島県
笹本　強志	長崎県
佐藤　安彦	茨城県
清水　孝紀	愛知県
清水　展子	神奈川県
下山　繁雄	山形県
白木　登	神奈川県
鈴木　恵子	宮城県
鈴木　幸四郎	埼玉県
関口　正浩	群馬県
高橋　国夫	神奈川県

氏名（敬称略）	都道府県
高柳　宏紀	栃木県
田口　淳子	東京都
田村　博男	鳥取県
友本　顕暢	大阪府
西尾　廣幸	長崎県
馬場　和彦	東京都
平田　満穂	長崎県
藤澤　勝彦	岡山県
藤原　寛	長野県
藤本　文雄	神奈川県
宮武　真照	香川県
宮原　信道	千葉県
元井　春夫	新潟県
森　緑	香川県
山本　博秋	千葉県
湯本　次雄	長野県
吉田　勝明	東京都
渡辺　卓也	東京都
渡辺　剛雅	東京都

校友大会運営賛助金　ご協力のお願い

校友会では会報誌 PATIO の発行や全国校友大会の開催、全国支部への支援、校友サービスの企画・運営など、さまざまな活動をご支援いただくため、平成 26 年 4 月から「校友会運営賛助金」の募集を開始いたしました。すでに多くの皆様からご協力をいただいておりますが、さらにご協力をくださいますようよろしくお願い申し上げます。

「校友会運営賛助金」をご送金いただく際は、本誌次号同封の払込取扱票（赤）にてお近くの郵便局窓口または ATM からお願いいします。（窓口時間外もご利用でき、また本会負担の手数料も低額となる ATM をぜひご利用ください。）

校友会会員の皆様へ・大学より耳より情報！

校友会ホームページのリンクにある「社会人通信教育の案内」では、さまざまな企業・団体の研修でも広く利用されている、産業能率大学 総合研究所（プロカレッジ）の通信講座を、通常より約 5,000 円お得な特別受講料でご案内しております。資格の取得や、ビジネススキルの向上を考えている方は、この機会にぜひ一度検討してみてはいかがですか？

校友会の最新情報は Web でお知らせしています
自由が丘産能短期大学校友会ホームページ　http://sanno-koyu.jp/

自由が丘産能短期大学 校友会のホームページでは、各支部のイベント情報や、写真を交えたイベントレポートなどをご紹介しております。
イベント情報やお知らせ、写真など皆様からの情報を随時受け付けております。

PATIO Vol.88　春号　掲載記事募集！

PATIO Vol.88　春号（2017 年 4 月 1 日頃発刊）の掲載記事を募集いたします。
イベント報告、総会報告、お知らせなど情報を 1 月末までにお寄せください！

受け付け先

校友会事務局　tandai@sanno-koyu.jp

編集後記

今年の校友大会は、宮城支部を中心にオール東北の皆様の底力を見させて頂き大変素晴らしい大会となりました。
また、大学より浦野学長、宮内副学長をはじめ、通教校友会から佐藤会長や多くの大学職員の方々がスタッフとしてご参加頂き、まさに「オール産能」を感じる大会でした。
今回は新米広報部の齋藤が担当と、心もとなく皆様から大変多くのご協力を頂き心より御礼申し上げます。

（広報部会　齋藤　陽子）

◆2016 年（平成 28 年）10 月 15 日発行　発行所：自由が丘産能短期大学校友会　〒158-8630　東京都世田谷区等々力 6-39-15　Tel：03-3701-0008
Fax：03-3704-9539　e-mail：tandai@sanno-koyu.jp（メールアドレスが新しくなりました。）◆発行人：平石　俊夫　編集：広報部会